

**“教育のゲーミフィケーション”を具現化！クラウド型学習システム「すらら」
スリランカにて学習塾を3月に2校開校
10カ月で6校開校、これまでで最大規模となる校舎を商業地域に初開校**

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）による民間連携事業協力準備調査 BOP ビジネス連携促進の採択を受け、スリランカのBOP層（※1）の子どもたちに、教師のレベルに左右されずに効果性の高い算数教育を低価格で提供するeラーニング塾のビジネスモデルの構築を目指しています。この度、スリランカに新たに「Surala JUKU ボレッラセンター校」、「Surala JUKU シーバリプラ校」の2校を3月10日に開校します。

（※1）「Base of the Pyramid」の略。世界の所得ピラミッドの中で最も収入が低い所得層を指す言葉。約40億人と言われている。

今回新たに開校する2校の運営は女性銀行（※2）が行います。その内ボレッラセンター校は、これまでスリランカで開校した4校と異なり、低所得層の住む住宅地ではなく商業地域に校舎を構えます。対象となる子どもは低所得層に限定せず、中間所得層を含む子どもで、開講当初の募集定員はこれまでで最大規模の約100名を予定しています。その後はパソコンの台数を増やし、さらに生徒を受け入れていく予定です。

（※2）女性銀行：BOP層の女性を対象としたスリランカのマイクロファイナンス組織。今回のプロジェクトを通じて、BOP層へのファイナンス支援だけでなく、教育支援と雇用創出も行っていく計画。

今回、ボレッラ地区に開校し、生徒の対象を拡大したのは、女性銀行として従来のBOP層向けだけでなく一般層向けの学習塾も展開していきたいという構想を以前から持っていたこと、女性銀行が所有していたクリニックが移転して物件に空きができたこと、ボレッラ地域の周辺には学校が多く交通の便も非常に良いことなどから、一般層向けの大規模学習塾には最適と判断したためです。

スリランカにおいて、これまで「Surala JUKU」は、2015年5月に女性銀行が運営する1校舎とFoundation for Health Promotion（FHP）（※3）が運営する1校舎の計2校、さらに同年9月に女性銀行が運営する2校を開校しました。

（※3）Foundation for Health Promotion（FHP）：BOP層を対象に親の健全な生活習慣を根付かせることにより子どもの生活・教育レベルを引き上げるなどの活動を行う組織。

「Surala JUKU」は、現地用にカスタマイズしたクラウド型学習システム「すらら」を用いて日本の算数技能を学ぶことができ、それと同時にパソコンの使い方が身につくこと、日本流の「しつけ」も教えることなどが生徒や保護者より高評価を受けています。

また、女性銀行とFHPを学習塾の運営パートナーとし、すららネット本部が研修を行うことで教務経験の無いBOP層の女性をeラーニング塾のファシリテーターとしています。これによるBOP層の女性たちの雇用拡大・自立支援も本プロジェクトの目的のひとつとしています。

すららネットでは、「世界中の教育格差の根絶」を理念としており、今後も品質の良い教育を低価格で提供することで、教育格差を解決していきたいと考えています。



▲Surala JUKU ボレッラセンター校 開校予定地

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学(算数)・国語

【利用者数】 約30,000名(2015年4月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標(学習時間・クリアユニット数)におけるランキング

学習レベル:「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧:自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移



■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立: 2008年8月 ○ 資本金: 13,795万円 ○ 所在地: 東京都千代田区内神田
- 事業内容: クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL: <http://surala.jp/>